

JHF 理事会議事録

日時： 2026年3月19日(木) 13:00～17:00

場所： JHF 事務局会議室(北区中里1-1-1-301) /ZOOM 会議

1. 議長・議事録作成成人指名

議長： 廣川靖晃 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 高瀬吉康 竹村治雄 濱田 革
廣川靖晃 横田 開
オンライン (ZOOM) 橋田明夫
【監事】 オンライン (ZOOM) 岩村浩秀
(出席理事7名 今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事の一言

竹村会長：2月は教員検定員検定会、ツリーラン救助講習会を開催した。静岡エリアの事故、安全の取り組みについて富士宮警察署が事務局に来局し、安全性委員会委員長と対応。26年度事業に安全への取り組みを盛り込む。

高瀬理事：Instagram 写真提供。海外事故、動向情報を安全性委員会と情報共有している。

芦川副会長：教員検定員検定会へ手伝いに行った。辺野古事故についてはパラグライダー体験等にも通じるものがあるため注意が必要。

横田理事：教員検定員検定会へ手伝いに行き、3年に1回の検定会でもあり記録に残したい。

濱田副会長：ハンググライダークラス5、クラス1日本選手権が続く。パラグライダー日本選手権は9月にニセコ開催で準備を進める。補助動力委員会で補助動力上級タンデム技能証基準を進めている。

4. 審議事項

第4-1号議案 2026年度事業計画について

竹村会長より、2026年度事業方針について説明があった。事業方針としては、事務局業務デジタル化による効率化、安全のための事故分析を進め安全啓蒙を課題とする。

議長(廣川理事)：一部文章の追記、文言の修正の後、**2026年度事業計画案について決議する。**

出席理事全員(議長を除く6名)の賛成で承認

第4-2号議案 2026年度予算について

芦川副会長より、2025年度決算予測に基づき予算案を作成したが、公共料金・交通費、郵便料金の値上げもあるが、各委員会の要望を入れた旨の説明があった。

世界選手権はパラグライディングジュニア世界選、ハンググライディングスポーツクラスが増えていることもあり補助金についても考えていきたい。会費値上げ、賛助会費、寄付金を集める等収入を増やす検討について意見が出た。

岩村監事より、法人としては寄付金を集めるのは難しいとの意見もあり要継続となる。

議長(廣川理事)：**2026年度予算案で決議をする。**

出席理事全員（議長を除く5名（議案説明時、橋田理事不在））の賛成で承認

2026年度事業計画、予算は、3月末迄に内閣府へ提出し、6月通常総会で正会員へ報告する。

第4-3号議案 2026年度委員選任について

竹村会長より、委員選任について説明、定員オーバーの委員会はどうするかを協議した。

新しい委員の応募は尊重し、複数委員会に属している委員には一つの委員会に絞る等の検討をお願いすることを、担当理事から委員長経由で意向を聞いてもらいたい。

議長（廣川理事）：委員選任については、定員オーバーしている制度委員会、ハングパラ振興委員会（PG競技委員会（以前からアキュラシー要因として1名追加しているため））は除き、選任とする。

出席理事全員（議長を除く6名）の賛成で承認

第4-4号議案 教員検定・再検定料金の改訂について

横田理事より、2025年10月1日に価格改訂をしたJHF技能証規程別紙（申請料等一覧）の中で、教員再検定は実検定と同じ内容のため教員・スクール事業委員会からの検定料見直案の説明があった。

議長（廣川理事）：現在のグランドハンドリング、フライト実技、誘導・指導実技 各3,000円を
・グランドハンドリング・フライト実技 10,000円（どちらか一方だけでも10,000円）
・誘導・指導実技 10,000円（どちらか一方だけでも10,000円）

と技能証規程別紙（申請料等一覧）を改訂することで決議する。

出席理事全員（議長を除く6名）の賛成で承認

5. 協議事項

5-1 教員技能受検資格について

教員検定時の受検資格について制度委員会へ諮問し、委員会からの答申について協議した。

制度委員会では、有効期限を過ぎた場合、当該技能証を有していないものとして扱うことが妥当との答申であった。現在は、教員・助教員技能証は有効期限が切れていても教員・助教員更新講習会を受講し申請をすれば有効となる。高瀬理事より委員会は運転免許証と同じ扱いの意見とのことで、海技免許と同等の扱いとして、失効とするのであれば救済措置、1年以内であれば救済等も必要となる。細則等を確認し継続協議とする。

5-2 小型無人機飛行法のエリア拡大について

一般財団法人日本航空協会（JAA）から小型無人機等飛行禁止法の改正案（イエローゾーンが300mから1000mに拡大）の情報共有があり、会員等への周知対応依頼があった。

関係するエリアも出る可能性もあり周知はどうするか協議した。引き続き情報収集とともに、メールで正会員、登録スクール、JHFウェブ掲載を進める。

5-3 JPMAからの文書について

JPMA（特定非営利活動法人日本パラモーター協会）から技能証移行の受け入れに関する特別措置（案）の報告が届いた。補助動力委員会にも確認してもらい意見があった際は返答する。

5-4 飛行禁止区域でのフライト対応について

正会員より飛行禁止区域でのフライトの対応について相談があり、JHF対応について協議した。

5-2の小型無人機飛行法についての周知に合わせて注意を入れる。

5-5 委員会構成の再編について

横田理事より、フライヤー会員減少傾向、事業規模や運営体制について現状に合わせ効率的な組織運営が求められるので、委員会構成の再編を検討したい意見があり協議した。作業量、アウトプット、委員会数を減らすより委員数を減らす等意見があり、具体的に検討することで継続協議となった。

6. 報告事項

6-1 JHFシステム改修状況

竹村会長よりJHF業務効率化システム構築についての経緯、現在の状況説明があった。2026年度には郵送を減らしメールベースによるサービス、会員マイページの構築等を予定する。

6-2 予算実績表

6-3 フライヤー会員数、技能証発行件数

予算実績表、会員数、技能証発行数を報告した。

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。(出席理事)

理事

芦川雄一郎 印

高瀬吉康 印

竹村治雄 印

橋田明夫 印

濱田 革 印

廣川靖晃 印

横田 開 印

監事

岩村 浩秀 印